

やすらぎ通信

平成 30 年 正月

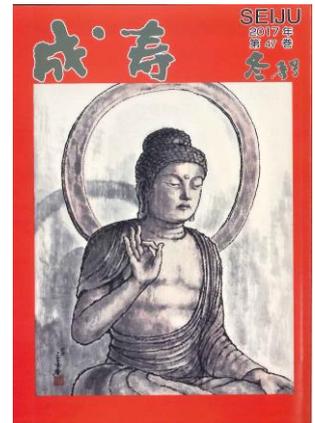
発刊不定期 横浜やすらぎの郷霊園管理事務所 〒241-0802 神奈川県横浜市旭区上川井町 1749-1
☎045-924-0210 FAX:045-924-0239 URL: y-yasuraginosato.jp Eメール: info@y-yasuraginosato.jp



縁起だるまを差し上げています

(数量限定)

家内安全・身体健全・合格祈願…
最初はむかって右の目を入れる
来年には両目を入れてお持ち下さい



◇善光寺 季刊誌『成寿』47 卷（平成 29 年冬号）発刊 ⇒

特集:横浜善光寺留学僧育英会第三十回記念交歓会
どうぞご自由にお持ち帰り下さい。

◇善光寺祈祷会のご案内

新しい年の厄除けとご多幸を祈念致します。

ご希望の方にはお札をおつくり致しますのでお問合せ下さい

○新年祈祷会 1 月 9 日 (火) 午前 10 時半～

○節分追儺会 2 月 3 日 (土) 午前 10 時半～



於 善光寺釈迦殿 開始時間が早くなりました。ご注意ください!

今年も奉納演芸として、和太鼓や獅子舞、帮間芸などを企画してお待ちしております。

※霊園への送迎バスはありません。

◇善光寺ホームページ リニューアル

従来のホームページはそのままに、新しくスマートフォンに対応したページが出来ました。右のQRコードからすぐ見る事ができます。

URL : <https://y-zenkouji.com>



□やすらぎ寺子屋のご案内

毎月第 1 日曜日の午後 2 時から、椅子坐禅と法話会・茶話会を行っています。仏教に親しみ、坐禅に触れてみませんか?お気軽にご参加下さい!!

【1 月 7 日 (日) 2 月 4 日 (日) 3 月 4 日 (日)】

午後 2 時～ 1 時間

場所 : やすらぎの郷霊園礼拝堂 参加費 : 無料

◆脳トレ

お正月休みに頭の体操、脳トレ如何ですか？今回は漢字の問題です。
 まずはお正月、おせち料理にちなみ問題。今年も食べましたか？

- | | | | | |
|-----|------|------|-----|-----|
| ①金柑 | ②牛蒡 | ③蕪 | ④蒲鉾 | ⑤胡桃 |
| ⑥膾 | ⑦長老喜 | ⑧菠薐草 | ⑨蚕豆 | ⑩慈姑 |

続いては定番のお魚。お寿司屋さんの湯呑みにありそう？…。

- | | | | | |
|-----|----|----|------|-----|
| ①河豚 | ②鰯 | ③鯨 | ④秋刀魚 | ⑤米螺 |
| ⑥鰯 | ⑦鮭 | ⑧鱈 | ⑨鮫鱈 | ⑩鱈 |

続いて生物

- | | | | | |
|-----|------|-----|-----|-----|
| ①河馬 | ②土竜 | ③海豚 | ④海豹 | ⑤海驢 |
| ⑥馴鹿 | ⑦翻車魚 | ⑧海獺 | ⑨海象 | ⑩蝙蝠 |

食べ物は如何？

- | | | | | |
|-----|-----|-----|------|-----|
| ①饅頭 | ②蜜柑 | ③饅頭 | ④林檎 | ⑤柚子 |
| ⑥蒟蒻 | ⑦心太 | ⑧餡子 | ⑨寿留女 | ⑩雲吞 |

最後に身体の部位

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|----|
| ①踝 | ②睫毛 | ③鳩尾 | ④黒子 | ⑤項 |
| ⑥旋毛 | ⑦脛脛 | ⑧踵 | ⑨頸椎 | ⑩臍 |

◆身体の漢字

身体の漢字には月（にくづき）偏がつく漢字が多いですが、何故だかわかりますか？
 実はこの月という偏には古くは三つの区分けがあったそうです。（公益財団法人日本漢字能力検定協会HPより）



←こちらは『つきへん』 よく見ると横棒が右側の縦の画にくっついていない。
 もとは三日月の形から成り立った字
 天文や暦に関する字に用います（期、朗、朧（おぼろ）など）



←こちらが『にくづき』 横棒が両側とも縦の画にくっついている。
 もとは骨付きの肉から成り立った字
 身体に関する字に用います（脳や肺、腕など）



←こちらが『ふなづき』 横棒ではなく斜めの天が2つ
 もとは舟との関係から成り立った字
 服や朝、廟などはこの字

今では『つきへん』や『にくづき』を区分けをせずに『月』で統一されている辞書もあるので
 気にしなくてもよいようですが、成り立ちが異なるのも面白いですね。

『にくづき』に要と書くと腰。腰は身体の要。腰痛を患ったことのある方はまさに痛感している
 ことでしょう。「腰を抜かす」や「腰砕け」など昔から身体の部位が入ったことわざは数多くあ
 ります。

頭の天辺から足の先まで幾つ言えますか？

「頭が固い」・「後ろ髪をひかれる」・「面の皮があつい」・「顔から火がでる」・「顔をたてる」・「眉つば」・「鵜の目鷹の目」・「奥歯にものが挟まったような」・「肩で風をきる」・「臍を噛む」……。 いろいろありますね。



困った時には「頭を抱える」

悩みが解決して「ほっと胸に手をやる」

絶対にやると決めて、「腹を決める」「腰を据える」

風邪の季節、「大丈夫？」とおでこに手を当てて看病。看病の看するという字は手と目の組み合わせ。目で見えて実際に手を当てる。手を当てる（添える）で手当。

私達が無意識に行う動作から成り立っている漢字もありますね。

緊張したりイライラしたり「頭に血が上っている」時は、呼吸（息）が浅くなっています。ふっーとひと息、深い呼吸して「地に足つけるよう」にしたいものです。息とは自（分）の心と書きます。息を調えることは自分の心を調えることにつながります。イキ（息）している間はイキ（生き）てる証拠。一日一回でもゆっくりと丁寧に息をすることは丁寧に生きていくこと。

どうぞひといきひといきを大事に行ってみましょう。この間、山形のあるお寺で次のようなポスターを見ました。

五十回忌	三十三回忌	二十七回忌	二十三回忌	十七回忌	十三回忌	七回忌	三周忌	一周忌	平成三十年年回表
昭和四十四年亡	昭和六十一年亡	平成四年亡	平成八年亡	平成十四年亡	平成十八年亡	平成二十四年亡	平成二十八年亡	平成二十九年亡	

毎日いつでも どこでも 「ひといき坐禅」
 ゆっくりはいて心静かに ゆったり吸って微笑んで
 このひといきで 今をはじめよう

坐禅と聞くと難しそうと思いますが、いつでもどこでもゆっくりはいて、ゆったり吸ってあわてないで今を感じてみて下さい。

きっと心も落ち着いてきますよ。

答

- | | | | | |
|-------|-------|---------|-------|------|
| ①きんかん | ②ごぼう | ③かぶ | ④かまぼこ | ⑤くるみ |
| ⑥なます | ⑦ちょろぎ | ⑧ほうれんそう | ⑨そらまめ | ⑩くわい |

※⑦のちょろぎとは、黒豆に添えられている赤い巻貝のようなもの。シソ科の植物、根っこの部分を食用

- | | | | | |
|------|-----|------|-------|-------|
| ①ふぐ | ②ぶり | ③にしん | ④さんま | ⑤さざえ |
| ⑥いわし | ⑦さけ | ⑧たら | ⑨あんこう | ⑩どじょう |

- | | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|
| ①かば | ②もぐら | ③いるか | ④あざらし | ⑤あしか |
| ⑥となかい | ⑦まんぼう | ⑧らっこ | ⑨せいうち | ⑩こうもり |

- | | | | | |
|--------|--------|--------|------|-------|
| ①うどん | ②みかん | ③まんじゅう | ④りんご | ⑤ゆず |
| ⑥こんにゃく | ⑦ところてん | ⑧あんこ | ⑨するめ | ⑩わんたん |

- | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|---------|
| ①くるぶし | ②まつげ | ③みぞおち | ④ほくろ | ⑤うなじ |
| ⑥つむじ | ⑦ふくらはぎ | ⑧かかと | ⑨けいつい | ⑩へそ（ほぞ） |



■こころの育て方

先日、本屋で『稲盛和夫新道徳 子ども こころの育て方』(西東社)という本を手に取りました。小学校では 2018 年度から、中学校では 2019 年度から道徳が「特別の教科」となり、検定教科書を使用して評価の対象となります。教科となることで子ども達に画一化された価値観を押し付けるような感じも致します。押し付けるのではなく、大人の世代が身を以って示していければ良いのですが…。子は親の背を見て育つと言います。我が身、我が行動を省みなければいけませんね。

『宗教無き教育は賢い鬼を作る』ということわざがあります。道徳と宗教はなにが違うのでしょうか。時代や国、地域によって善悪の基準、価値判断は大きく異なります。仏教徒であればお釈迦さまの教えに随った生き方が善であり、お釈迦さまに背をむけた生き方が悪となります。お釈迦さまの教えは特別難しいことを説いているわけではなく、当たり前のようなこと。時の流れは止められない。移り変わっていくことは自然なこと。ひとりでは生きていけない。縁によってお互い、支え、支えられている…。解っているけれど日々、自分の都合に流されてしまいます。ではこの自分の都合とどう付き合うのか？

稲盛氏の本を開くとそこにはお釈迦さまの教えがいくつもありました。

私たちにはふたつの心があるということ。「自分だけよければよい」という心と「人をたすけてあげたい」という心。それは「利己(りこ)」と「利他(りた)」と呼ばれます。「利己」も悪い心ではないけどこの心ばかりが育つと悪いものがよってくる
反対に「利他」の心を育てて実践していくと良いものがよってくる。つまり「利他の帆」をはって「他力の風」をみかたにつける。そのことが大きな夢をかなえる力になる。自分ひとりの力で出来ることなんて限界があるのだから…。

極楽と地獄にある「大きなかま」と「長〜いおはし」

極楽にも地獄にも「大きな釜のうどん」があるんだけど、このうどんを食べるには「長〜いおはし」を使うしかないんだ。極楽にいる「利他」の人たちは、長いおはしでほかの人に食べさせてあげるから、みんなまで食べられる。地獄にいる「利己」の人たちは、自分だけが食べようとするから、けっきょくだれも食べられないんだ。

「極楽」は楽しいところで、「地獄」はこわいところだって思っている人は多いよね。でもじつは、極楽も地獄も見た目はほとんど同じなんだ。ちがうのは、そこにすむ人のこころ。みんなが「思いやり」、つまり「利他のこころ」をもっているかどうかで、同じ場所でも全然ちがう場所になるってことなんだ。 『稲盛和夫新道徳 子ども こころの育て方』(西東社)より

押し付けや義務感、他人からの評価ではなく、自分の悦びとして他人に手を差し伸べられる人になって欲しいし、自分もそうありたい。そのためには道徳と合わせ仏教(宗教)教育も大事ですよ。

合掌

編集後記 この秋は寒暖の差が激しかったからでしょうか、例年より街路樹の紅葉がきれいに感じました。でもきれいもひと時。すぐ落ち葉の清掃に悩まされる日々。『掃けば散り 払えばまたも塵積る 人の心も 庭の落葉も』霊園の木々もたくさん葉を落とします。つい「キリがないなあ」と嘆いてしまいましたが、私達の心の塵も何時の間にかたまってしまいます。油断しないで自分の心をしっかりと調べ、今年一年清らかな心で過ごしましょう。

